寒河江市デジタル戦略計画（案）概要版

基本理念：「いつでも どこでも 幸せ実感 DXさがえ」　計画期間：令和９年４月１日から令和１４年３月３１日

目 的

デジタル技術を活用して行政手続きの利便性向上と庁内業務の効率化を推進し、全市民が快適さと安全を実感できる温もりあるデジタル社会の実現を目指します。

位置づけ

上位計画である「第7次寒河江市振興計画」及び「行動計画（施策4-4：スマートな行政運営）」を支えるデジタル部門計画として策定します。国のデジタル社会形成基本法や自治体DX推進計画とも連動した計画です。

分野別デジタル戦略「４つの柱」

【第1の柱】スマート行政・教育

【目的】 書かせない・待たせない窓口と質の高い学びを実現します。

- ポータルアプリの活用とオンライン申請「やまがたe申請」や引越しワンストップを推進します。
- 証明書コンビニ交付の利用定着を図ります。
- 庁内業務改革・生成AI/RPA・電子契約導入を推進します。
- GIGA端末更新と仮想空間での不登校遠隔学習支援を実施します。

【第2の柱】健康・福祉・医療DX

【目的】 予防から医療まで切れ目のない支援を提供し安心な地域社会を構築します。

- 公立さがえ西村山医療センター（仮称）のスマートホスピタル化を支援します。
- 電子版母子健康手帳への更新・活用と健診等個人健康記録（PHR）の管理を実施します。

【第3の柱】地域産業・観光DX

【目的】 産業の生産性向上と付加価値創出により地域の稼ぐ力を高めます。

- スマート農業・フィジカルAI農業ロボ導入実証を模索します。
- 熟練ノウハウDB化と農地台帳（地図連携型）一元化を実施します。
- 店舗キャッシュレス拡大と現地決済型ふるさと納税を推進します。
- 対話型AI観光案内設置と歴史伝統VR/AR保存を実施します。

【第4の柱】インフラ・防災・地域

【目的】 安全な都市基盤と持続可能な地域コミュニティを維持・継承します。

- ポータルアプリによる道路不具合等GPS通報（R10～）を実施します。
- 県避難所受付システム相乗りとアプリ避難誘導を導入します。
- ポータルアプリによる町会回覧デジタル化の実証を行い効果測定や利用拡大を図ります。

【全庁推進体制】 「デジタル戦略会議」統制のもと、デジタル戦略課が全庁司令塔・伴走支援を行います。
【デバイド対策】 老人福祉センター等でのポータルアプリ操作研修を開催します。ユニバーサルデザイン徹底と紙・対面窓口の併用を継続します。